



## 1 スクリハウス前



### 木村健世『無人駅文庫』

(2018~2024/本編)

無人駅にまつわる記憶を聞き取り、文庫目録としてまとめるプロジェクト。これまで、福用・抜里・塩郷・駿河徳山・代官町・下泉の6駅にて実施。

## 2 くにおさんのガレージ



### 米沢くにお『家族を見つめて』(ドローイング)

1948年抜里生まれ。独学で学生の頃より制作を開始。家族の成長や節目の時間をくにおさんは描きつづけてきました。子どもの七五三、老い行く母の姿、結婚、そして孫へ。茶部屋に並ぶ絵は、ひとりの人生と、家族とともに歩んだ時間の記録です。

## 3 久米商店



### 力五山『表参道 -願いをつなぐ-』(2021・抜里の祭り)

駿河・遠州を往復し信仰や大井川橋・蓬莱橋の歴史と美を表現。作品の中で制作された抜里の秋祭りでの様子のドローイング作品。

## 4 むくり園



### 獅子の歯ブラシ×女子美術大学 『風土のボディーランゲージ』(2024)

創作獅子舞ユニット「獅子の歯ブラシ」の指導のもと、女子美大生10名が抜里でリサーチを行い身体表現を映像に収めた。抜里11班にて保管されていた大獅子の復活も含めた成果映像。



### 江頭誠『茶畑と機関車の間』(2019・たぬき)

江頭誠は2年にわたり作品制作を実施。たぬき作品はUNMANNED無人駅の芸術祭/大井川2019メインビジュアルとして制作。

## 5 五班集会場



### さとうりさ『地蔵まえ3 / サトゴシガン』(2020~)

「パブリックアートもお地蔵さんのように地域になじむのは可能か」。家庭でオブジェ作品を預かってもらうプロジェクトを実施。

## 6 うりやのしんや



### 形狩りの衆『顔の家』(2020~/継続)

大井川流域で暮らす人々の「今をいとおしみ、今を残すこと」を目的にライフマスクの制作を複数年にて行うプロジェクト。

## 7 天野邸



### 小鷹拓郎『インドネシア人技能実習生、河童の狩猟技術を学ぶ』(2021/映像)

大井川流域で暮らす人々と共に、疫病退散の象徴「河童」をワクチンに見立て狩猟する記録映画。民間信仰と現実を交差させたモニュメンタリー作品。



### 上野雄次『茶会シリーズ』(2024/ 映像)

天空茶会/大井川流上茶会/車上茶会 花道家上野雄次による茶会シリーズ。「空」「川」「車上」の3か所において実施したパフォーマンス。動と静が交錯する前人未踏の試み。



### ひびのこづえ『RYU』(2021/ 映像)

大井川に残る歴史や伝説を起点に、パフォーマンスを通して未来への新たな伝説を創出。衣装・身体・音が交差し、時空を超える物語を描く。



# みんなでつくる、集落さんぽマップの楽しみ方

この芸術祭の舞台は、作品だけではありません。茶畠の風景、木々の音、川の気配、集落の小道や暮らしの気配。作品をきっかけに、春の集落を歩いてみると、きっとそれぞれに「気づき」や「お気に入りの景色」が見つかるはずです。

このマップは、そんな発見を、みんなで持ち寄ってつくるマップ。アートと一緒に、歩く楽しさや、集落の魅力を、ぜひ共有してください。



■ Googleフォームからも参加できます  
スマートフォンでQRコードを読み取って、気づいたこと・場所・ひとこと感想を教えてください。

集計したデータは会期後半にマップ追記して公開します!

メモ欄:「これ、好きかも」と思ったら、忘れないようにメモ。場所も覚えておいてね!

## 7 天野邸 (つづき)



### 村上慧『移住を生活する in 島田』(2025)

家とは何か。住むとは何か。という問いをもとにしたアートプロジェクト。川根本町千頭～島田市までを7日間かけて徒歩で移動した村上慧の「家」の記録映像。



### 越智良江『マイ・タウン マイ・ディ』(2025/映像)

市内小学生9名による稽古の様子・抜里地域交流センターでの公演映像。鉄道と人生と子どもたちの生が混ざり合う。「それでも明日は来る」



## 8 清次のちゃべや



### 天地耕作(村上誠・村上渡)『天地耕作の記憶』(2026)

「天地耕作」が1980年代～2000年代に活動した記録写真とパフォーマンス映像を展開。土地に向かい、土や石、身体を通して、その場所に刻まれてきた時間の記録。



## 9 元鈴木邸



### 天地耕作(村上誠・村上渡)『森繁哉の言霊』(2026)

無人駅の芸術祭に3年にわたり参加し、天地耕作と交流の深い舞踏家森繁哉のインタビューや書簡での言葉と抜里でのパフォーマンス映像を展開。



## 10 しまの竹やぶ



### 天地耕作(村上誠・村上渡)『産土(うぶすな)』(2026)

旧社殿中央を掘り、地層をみて石と砂で基壇に沿う壇をつくり、木材にて構築物を設置。2年をかけてこの場所にて制作を行う。



## 11 東弘一郎『茶畠のサイクリスト』(2024)



### 防霜ファン越しに茶畠を一望し、自転車で風車を回す体験を通じ鑑賞者自身が景観の一部に。作品が地元と訪問者の対話や茶畠への愛着を生む。



## 12 小山真徳『てのひら』(2024)

大井川流域で出会った、譲り合いや手を振る人々のやさしい手のひら。旅先での普遍的な情愛のサインとして、この土地に手のひらを作る。



## 13 西田秀己『境界のあそび場II / ちばらのカーテン』(2021)

茶畠に漂う大きなカーテンと円形の縁側で休息の場を提供。カーテン越しに世界の輪郭や細部がきらめき、訪れる人々に新たな景観体験をもたらす。



## 14 TAKAGIKAORU『茶ノ木もぐり』(2025)

茶ノ木と志戸呂焼粘土でつくられた「茶ノ木もぐり」はかつての茶畠での遊びからヒントを得て制作。



## 15 ちばらのギャラリー

人は道具を通して自然と関わってきた。本作は「使うこと」の原点に立ち返り、抜里のおじさん達と道具と使い方を考え、新たな意味を探る試み。



## 16 河川敷 (抜里スポーツ広場)



### 小山真徳『盆と沢蟹』(2021/かに)

大井川流域のデイタラ坊伝説をもとに、巨人の盆が河川敷に流れ着く光景を表現。制作は2ヶ月、設置には抜里地区の40名以上が協力。

### SHINN UCHIDA『NUKURI HEROES』(2023/漫画)

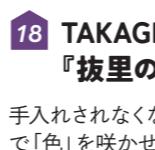
「スクリハウス」の襖をキャンバスに、抜里の人々が登場するヒーロー漫画を制作。集落を脅かす「脅威」にNUKURI HEROたちが立ち上がる。

## ぽいんぽいん山 ART TRAIL



### 堀園実『風や水を切る』(2025)

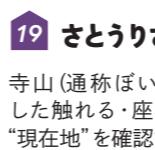
琉球漆喰の柔らかい質感を通じ、彫刻を生きた存在として体験。触れる・感じるという身体性を通じ変化していく作品。



### 18 TAKAGIKAORU

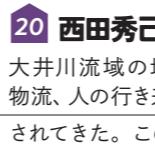
### 『抜里の茶畠に色を咲かせる』(2025)

手入れされなくなった茶畠が森のようになる現状に、約40名で「色」を咲かせ風景を変える時間を創出。



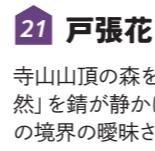
### 19 さとうりさ『本人』(2023)

寺山(通称ぽいんぽいん山)を180分の1スケールで再現した触れる・座れる作品。山に触れる・座れる・眺める・自分の「現在地」を確認する。



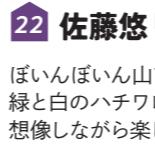
### 20 西田秀己『境界のあそび場IV/音の要塞』(2023)

大井川流域の地域大井川流域では、古くから対岸との物流、人の行き来、情報の交換のために様々な手段が工夫されてきた。この要塞は、「交信」の努力をしてきた人々へのオマージュ。



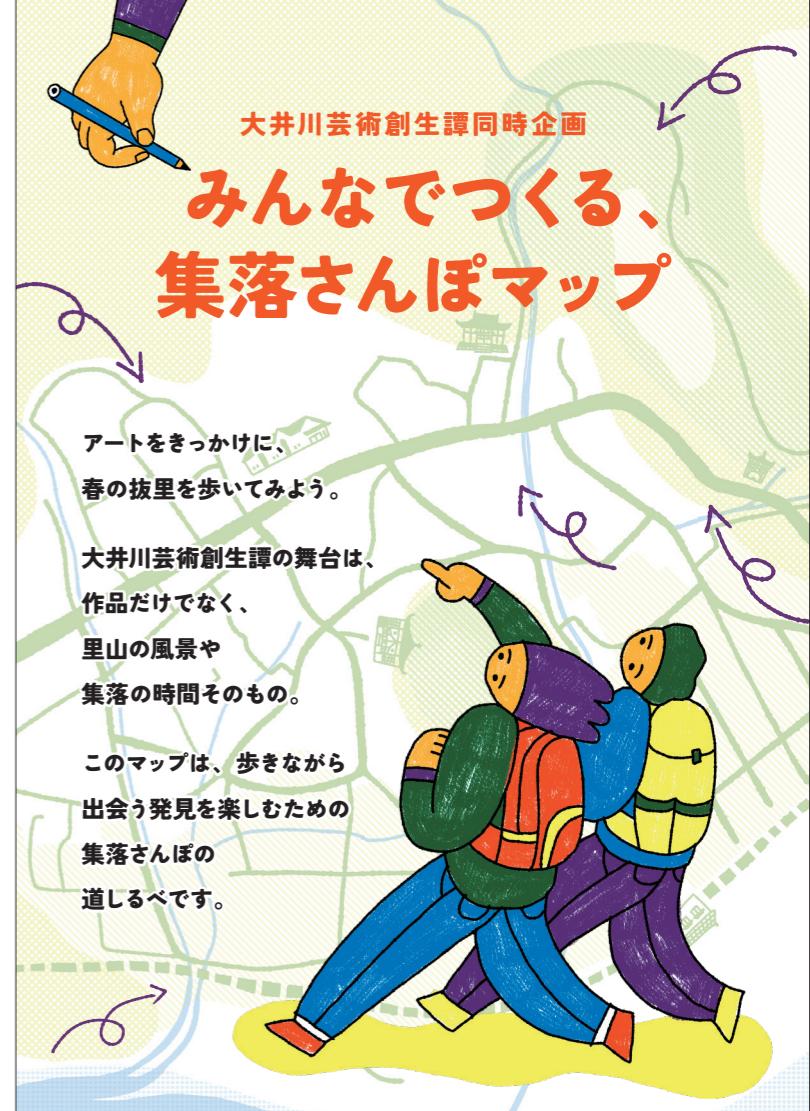
### 21 戸張花『景色』(2026)

寺山頂の森を映す鉄の円盤。鏡面に映る「管理された自然」を鏡が静かに侵食し、鉄本来の姿へ還す。人工物と自然の境界の曖昧さを通じ、自然の循環の在り方を問いかける。



### 22 佐藤悠『なびねこ「茶々」の案内看板』(2026/看板)

ぽいんぽいん山アートトレイルを案内する猫「茶々」の看板。緑と白のハチワレ姿を辿り、山のアイテムや見えない風景を想像しながら楽しみながら巡る体験。



大井川芸術創生譚同時企画

# みんなでつくる、集落さんぽマップ

アートをきっかけに、春の抜里を歩いてみよう。

大井川芸術創生譚の舞台は、作品だけでなく、里山の風景や集落の時間そのもの。

このマップは、歩きながら出会う発見を楽しむための集落さんぽの道しるべです。

大井川芸術創生譚同時企画  
みんなでつくる、集落さんぽマップ

作品の場所が分かりにくいときは

右のQRコードからGoogleマップでご確認ください。  
各作品の位置を現在地から確認できます。

大井川芸術創生譚 | 開催概要

会期 2026年2月14日(土) - 3月15日(日)

会場 静岡県島田市川根町抜里 各所(鑑賞無料)

鑑賞時間 [屋内作品] 10:00~16:00

休館日 [屋内作品] 月曜・火曜・水曜(2/23祝は開館)

\*屋外作品はいつでも鑑賞できます

芸術祭インフォメーションセンター



Atelier & Guest house ヌクリハウス

ヌクリハウスは、この芸術祭から生まれた宿泊施設。人と人が出会い、語り合うアートと集落のハブとして開かれました。芸術祭をきっかけに、また抜里を訪れたくなった方も、ぜひお立ち寄りください。

静岡県島田市川根町抜里930

抜里駅徒歩10分 ※開館日は屋内作品開館に準じます

□お問い合わせ・運営

芸術祭事務局(NPO法人クロスメディアしまだ)

住所:島田市日之出町4-1-1F「C-BASE」内

Tel:0547-39-3666

Mail:info.unmanned@gmail.com

